



# 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年10月7日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>  
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岡谷 篤一  
 問合せ先責任者（役職名）企画部長（氏名）守 克教 (TEL) 052-204-8133  
 四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日 配当支払開始予定日 平成22年10月29日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績（平成22年3月1日～平成22年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	321,884	17.0	4,139	—	5,157	—	2,884	—
22年2月期第2四半期	275,002	—	△805	—	△596	—	△325	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	59.62	58.77
22年2月期第2四半期	△6.70	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	318,463	77,184	21.7	1,433.39
22年2月期	321,203	79,599	22.4	1,488.42

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 69,249百万円 22年2月期 72,047百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	12.00	—	10.00	22.00
23年2月期	—	11.00			
23年2月期(予想)			—	11.00	22.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年2月期の連結業績予想（平成22年3月1日～平成23年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	630,000	12.6	6,000	249.6	6,000	172.9	3,000	302.9	62.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4 2. その他の情報をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 一）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年2月期2Q	48,944,480株	22年2月期	48,944,480株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年2月期2Q	633,126株	22年2月期	539,406株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年2月期2Q	48,380,993株	22年2月期2Q	48,575,738株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
【第2四半期連結累計期間】.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
4. 参考資料.....	9
(1) 売上高のセグメント別内訳.....	9
(2) 設備投資額ならびに減価償却費.....	9
(3) 人員の推移.....	9
(4) その他補足資料.....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間においては、アジア諸国を中心とする新興国の需要が好調に推移し、世界経済は緩やかな回復を続けました。しかしながら、欧州諸国の財政問題に関する懸念が高まり、商品価格や株価が下落したこともあり、回復ペースは鈍化しました。エコカー減税や家電のエコポイントによる消費刺激効果、そして電子部品等の輸出が下支えとなり、生産の持ち直し傾向が続きましたが、個人消費は力強さに欠け、景気回復は緩やかなものにとどまりました。円高が進んできたことも先行きの不安材料となっています。

このような状況下にあつて、当第2四半期連結累計期間における売上高は情報・電機及び産業資材事業において大幅に増加し、3,218億84百万円で前年同期比17.0%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が210億60百万円（前年同期比28.3%増）、営業利益が41億39百万円、経常利益が51億57百万円となりました。また、当四半期純利益は28億84百万円となりました。

これを事業の種類別に見ますと、次のとおりであります。

#### (鉄鋼)

普通鋼・特殊鋼とも自動車、建機・産機などの製造業向けは順調に推移しましたが建設・土木向けは公共、民間共に低迷しました。またタイ、シンガポール、ベトナムなどの東南アジア向け輸出が大幅に増加しました。

鉄鋼部門全体では、売上高は前年同期比3.8%増収の1,423億28百万円となりました。

#### (情報・電機)

非鉄金属分野では、世界各国における自動車関連及び家電製品の需要が拡大し、メタル相場の底上げもあり大幅な増収となりました。エレクトロニクス分野でも電子部品が売上拡大、また、今夏の酷暑によるエアコン向け半導体も増加しました。更にグループ会社として六合エレメック(株)が新たに加わったこともあり、大幅な増収となりました。

情報・電機部門全体では、売上高は前年同期比55.2%増収の722億41百万円となりました。

#### (産業資材)

メカトロ分野では、自動車をはじめ製造業の生産が回復し、部品・工具の売上が順調に推移しました。化成品分野でも、国内外の自動車向けの売上が拡大しました。

産業資材部門全体では、売上高は前年同期比27.9%増収の788億20百万円となりました。

(生活産業)

配管住設分野では、工事案件の落ち込みにより、市販・直需共に減少しました。建設分野では、マンション・戸建共に減少し、ビル付帯設備工事も低調に推移しました。食品分野では、水産品・加工食品の輸入が増加しました。

生活産業部門全体では、売上高は前年同期比4.2%減収の284億94百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,184億63百万円となり、主に市況の悪化に伴う投資有価証券の減少により前連結会計年度末に比べて27億39百万円減少しました。

負債は2,412億79百万円となり、主に長期借入金の減少により前連結会計年度末に比べて3億24百万円減少しました。

純資産は771億84百万円となり、主にその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末に比べて24億15百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の通期業績予想は、今後の景気の先行きなど不確かな要素も多く、平成22年4月7日発表の予想数値を据置いております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理は適用しておりません。

なお、当社及び連結子会社においては、下記の項目につき、簡便な会計処理を適用しております。

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社においては、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ② 経過勘定項目の算定方法

一部の連結子会社においては、固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

#### ③ 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算出方法

一部の連結子会社の法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境及び一時差異の発生状況等に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,733	5,953
受取手形及び売掛金	147,333	144,976
商品及び製品	32,393	30,441
仕掛品	446	394
原材料及び貯蔵品	1,351	1,227
その他	7,444	8,058
貸倒引当金	△1,151	△1,242
流動資産合計	194,551	189,810
固定資産		
有形固定資産	42,297	42,848
無形固定資産	1,382	1,613
投資その他の資産		
投資有価証券	64,714	72,088
その他	18,197	17,445
貸倒引当金	△2,681	△2,603
投資その他の資産合計	80,231	86,930
固定資産合計	123,911	131,393
資産合計	318,463	321,203

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,411	98,263
1年内償還予定の社債	40	—
短期借入金	90,586	78,864
未払法人税等	1,242	303
賞与引当金	722	653
その他	5,205	5,747
流動負債合計	192,208	183,832
固定負債		
社債	140	—
長期借入金	29,345	35,861
繰延税金負債	14,456	17,250
退職給付引当金	2,051	1,974
役員退職慰労引当金	691	690
その他	2,386	1,995
固定負債合計	49,070	57,771
負債合計	241,279	241,603
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	41,184	38,783
自己株式	△657	△572
株主資本合計	57,453	55,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,789	20,322
繰延ヘッジ損益	△69	△0
為替換算調整勘定	△3,925	△3,412
評価・換算差額等合計	11,795	16,909
少数株主持分	7,935	7,552
純資産合計	77,184	79,599
負債純資産合計	318,463	321,203



(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	275,002	321,884
売上原価	258,585	300,824
売上総利益	16,416	21,060
販売費及び一般管理費	17,222	16,920
営業利益又は営業損失(△)	△805	4,139
営業外収益		
受取利息	385	592
受取配当金	787	840
持分法による投資利益	52	186
その他	353	495
営業外収益合計	1,579	2,114
営業外費用		
支払利息	1,107	925
手形売却損	81	39
その他	181	130
営業外費用合計	1,370	1,096
経常利益又は経常損失(△)	△596	5,157
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	18	18
貸倒引当戻入額	218	100
退職給付制度終了益	102	—
その他	82	3
特別利益合計	423	125
特別損失		
固定資産処分損	38	19
減損損失	3	245
投資有価証券評価損	106	233
出資金評価損	42	4
関係会社株式評価損	1	—
その他	4	6
特別損失合計	197	509
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△371	4,774
法人税、住民税及び事業税	867	1,376
法人税等調整額	△732	297
法人税等合計	135	1,673
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△181	216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△325	2,884

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

**【事業の種類別セグメント情報】**

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

	鉄鋼 (百万円)	情報・電機 (百万円)	産業資材 (百万円)	生活産業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	142,328	72,241	78,820	28,494	321,884	—	321,884
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	540	801	87	753	2,183	(2,183)	—
計	142,868	73,043	78,908	29,248	324,068	(2,183)	321,884
営業利益	2,226	1,260	1,269	833	5,590	(1,450)	4,139

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

	鉄鋼 (百万円)	情報・電機 (百万円)	産業資材 (百万円)	生活産業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	137,095	46,533	61,629	29,743	275,002	—	275,002
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	670	542	63	764	2,039	(2,039)	—
計	137,765	47,075	61,693	30,507	277,041	(2,039)	275,002
営業利益又は営業損失(△)	537	403	△1,038	802	705	(1,510)	△805

(注) 1. 事業の区分は、取扱商品またはサービスの内容により区分しております。

## 2. 各区分の主な製品

- (1) 鉄鋼……鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他
- (2) 情報・電機……銅・アルミ、レア・アース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他
- (3) 産業資材……工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他
- (4) 生活産業……配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 参考資料

平成22年10月7日

## 平成23年2月期 第2四半期決算関係参考資料

岡谷鋼機株式会社  
コード番号 7485 名証第一部

## (1) 売上高のセグメント別内訳 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

【連結】	当第2四半期累計実績			前第2四半期累計実績		通期予想		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	金額	構成比	増減率
		%	%		%		%	%
鉄 鋼	142,328	44.2	3.8	137,095	49.9	281,000	44.6	7.8
情報・電機	72,241	22.4	55.2	46,533	16.9	138,000	21.9	31.0
産業資材	78,820	24.5	27.9	61,629	22.4	150,000	23.8	12.8
生活産業	28,494	8.9	△4.2	29,743	10.8	61,000	9.7	1.3
合 計	321,884	100.0	17.0	275,002	100.0	630,000	100.0	12.6

## (2) 設備投資額ならびに減価償却費 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績		通期予想	
設備投資額	1,501		2,600	
<主な内容>	賃貸集合住宅 (名古屋市)	386	賃貸集合住宅 (名古屋市)	386
	倉庫建設 (大阪府)	209	倉庫建設 (大阪府)	330
	工場設備増設 (ポーランド)	103	工場設備増設 (ポーランド)	300
	事務所用土地・建物 (米国)	140	事務所用土地・建物 (米国)	200
	工場設備増設 (タイ)	43	工場設備増設 (タイ)	130
	樹脂成型用金型	63	樹脂成型用金型	260
	情報システム更新	95	情報システム更新	180
減価償却費	1,932		3,900	

## (3) 人員の推移

【連結】

(人)

年 度	期末人員
平成21年2月期	4,572
平成22年2月期	4,340
平成22年2月期第2四半期	4,323
平成23年2月期第2四半期	4,593

【個別】

(人)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

年 度	期末人員	一人あたり 売上高	一人あたり 当期利益
平成21年2月期	643	1,112	4
平成22年2月期	654	679	1
平成22年2月期第2四半期	674	326	2
平成23年2月期第2四半期	681	366	2

(4) その他補足資料

◇◇◇当社株主優待のお知らせ◇◇◇

当第2四半期(2010年8月期)株主優待として、8月末所有株式数 1,000株以上の株主様に、新潟県産《新米こしひかり5kg》をお贈りいたします。現品の発送は10月末の予定です。

2月末所有株式数 500株以上の株主様へは、4月下旬に《新米こしひかり2kg》をお贈りしております。

◇◇◇当第2四半期累計期間のトピックス◇◇◇

当第2四半期累計期間、新たに展開した事業および主な出来事をご紹介します。

◎チリ大地震被害への義援金寄付(2010年3月)

2月27日にチリ共和国で発生した大規模地震による被災者の方々に対し、米国で事業を行う子会社5社と共に、総額約50万円の義援金を寄付しました。

◎中国青海省地震被害への義援金寄付(2010年5月)

4月14日に中国青海省で発生した大規模地震による被災者の方々に対し、中国で事業を行う子会社5社と共に、総額約50万円の義援金を寄付しました。

◎上海洛庫高電子有限公司の営業開始(2010年6月)

当社子会社の六合エレメック(株)は、電気・電子機器を販売する100%子会社「上海洛庫高電子有限公司」を設立しました。

<事業内容> 電気・電子機器の開発、簡易加工、販売、物流コンサルタント、輸出入、中継貿易

<売上計画> 2010年12月期: 150百万円 (7ヶ月)

2011年12月期: 300百万円

◎米国岡谷鋼機(株)本社を移転(2010年7月)

米国岡谷鋼機(株)本社をニュージャージー州からシカゴに移転しました。新社屋にはシカゴ支店と倉庫兼配送センターが入り、管理部門、倉庫、配送機能を一本化して効率化を図ります。

◎自己株式の市場買付実績(2010年3月1日から8月31日まで)

普通株式:93,000株

取得価額の総額:83百万円

以上